

ミヤマムギラン *Bulbophyllum japonicum* (Makino) Makino

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 11。自然度の高い森林に依存する着生植物で、伐採等の影響を受けやすい。

【形態】

常緑性の多年生草本。茎は細く、横にはい、卵球形の偽球茎をまばらにつらね、その上に 1 個の葉をつける。葉は披針形、長さ 4~8cm、幅 6~10mm、先端は鋭頭、葉質は革質である。花期は 6~7 月、偽球茎の基部から長さ 2cm 程度の花茎を出し、その先端に紅紫色の花を数個散状につけ、苞は披針形、長さ 1~2mm である。背がく片は長楕円形で長さ約 3mm、側がく片は広披針形で長さ約 8mm、基部には隙間があるが、先端は長く尖って互いに接着する。側花弁は卵形、背がく片より短く、唇弁は厚く、長さ約 3mm、濃紫紅色、ずい柱の前で前方に湾曲する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 52089, 1994-6-12)、2 豊根 (加藤等次 3497, 1993-8-3)、8 鳳来北東部 (加藤等次 1094, 1992-3-29)、10 鳳来北西部 (小林 46278, 1993-8-9)、12 新城 (小林 49737, 1993-12-12)。

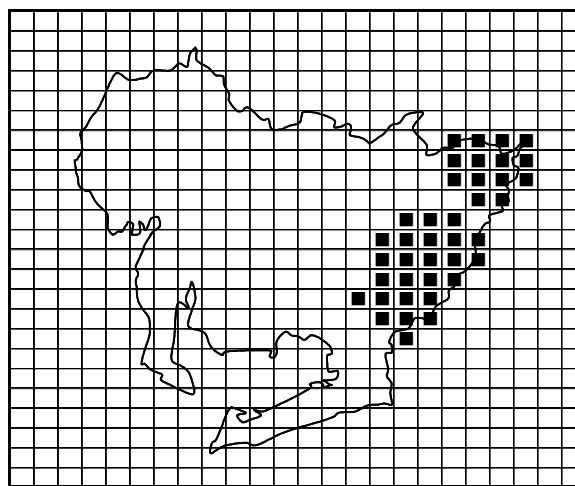
【国内の分布】

本州 (中部地方以西)、四国、九州。

【世界の分布】

日本および台湾。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の樹幹や岩上に着生する。愛知県の生育地は全て岩上である。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

小群落が点在するだけである。生育地はいずれも開発が想定されるような場所ではないが、山草愛好家に発見されれば持ち去られる可能性が高い。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

ムギランに比べ、葉は長く、先が尖る。

【関連文献】

保草本Ⅲp.60, 平草本 I p.231, 平新版 1 p.185.